

「こけたら大変や…」



深くなったことで、一つ問題が出てきました。「深く掘ったからりんご組さんには危ないかも…」「こけたら大変や…」と、3歳児のりんご組を心配する5歳児たち。そこで子どもたちが考えたのは、入らないように柵や看板をつくらうということでした。

近くにあったコーンを運ぶ子ども、紙とペンをとりに行く子どもと手分けをし、その場で看板づくりがはじまりました。書いた言葉は「ちゅうい」「X」。「“ち”ってどうやって書くの？」と知っている字を子どもが教え合いながら書きました。書き終えたのも束の間、「そういえばちいさい組さんって字読めへんのちゃう？」ということに気付き、「じゃあわかるように絵をかいてこう」現場の絵と、池に足を入れている様子にバツ印をかいていました。「これでよし!」

